

特定非営利活動法人
名古屋整形外科地域医療連携支援センター

平成 23 年度
寄付金募集趣意書

Ver. 2011. 9. 28

特定非営利活動法人 名古屋整形外科地域医療連携支援センター
理事長 佐藤 公治

ご寄付お願いの趣意

平成 11 年から八事整形会(整形医師の研修会)、平成 15 年から八事整形医療連携会(大腿骨頸部骨折地域連携パスをはじめ整形関連医療スタッフの研修会)、その後も八事あしの健康教室(市民公開講座)、痛みの教室(市民公開講座)、名古屋日赤整形外科研究会(医師の研修会)、脊髄倶楽部(医師の研修会)、ホームページ作製(医療者用、一般用)、スタッフ向けセミナーなどを行ってきました。最近では名古屋大腿骨頸部骨折連携パス拡大合同会議、八事地区の救急を考える八事整形外科救急医療連携検討委員会なども行っております。これらをさらに発展させ、名古屋地区の整形外科(運動器)関連の地域医療や医療連携の支援を行い、また新たに図書作製、スタッフ向け医療研修、医療情報提供、医療ボランティア、地域医療記録電子化などを行うため、特定非営利活動法人を設立するに至りました。今後積極的な活動を行っていく上で以下に挙げる課題が挙げられます。

1. 研修会及び意見交換会の企画運営
2. 地域医療連携に対する関連施設での医療者教育への対応
3. ホームページの開設と管理の必要性または会誌等の発行
4. 市民公開講座、医療者向け講演の講師および講演依頼への対応
5. さらなる地域連携パスの開発への対応(運動器疾患の治療と予防)
6. 各種データベース管理(施設・参加者・対象患者など)
7. 医療情報の共有および IT 化とセキュリティについて
8. 会員の学会発表や臨床研究への対応
9. 会員の福利厚生および活動支援
10. 文献や教材ツールの開発
11. 医療ボランティア
12. メディカルツアー対応支援
13. 国際医療交流支援
14. 企業との連携
15. 厚生労働省や地方自治体との連携及び交渉としての窓口
16. 活動資金

行政やひとつの医療施設や企業でできない医療従事者への地域での支援を行いたいと考えました。それが地域医療連携、さらに社会貢献とつながります。そのためには任意団体でなく公的な団体であり、資金面でも透明性の高い運営管理が必要です。以上のことから、今後広く活動して行くには法人格は必須の

条件であると考えました。

今年度 H23. 9. 7-H24. 6. 30 の活動予定としている事業

H23. 9. 8 第 47 回八事整形会 支援

H23. 9. 29 第 29 回八事整形医療連携会 支援

H23. 10. 14 八事整形医療連携会役員会 支援

H23. 10. 31 朝日新聞健康ページ企画 地域での骨粗鬆症予防と転倒予防

H23. 11. 12 第 12 回あしの健康教室 市民公開講座 支援

H23. 11. 19 地域連携パスワークショップ 支援

H23. 12. 6 第 40 回名古屋日赤整形外科研究会記念大会 支援

H23. 12. 8 第 48 回八事整形会 支援

H24. 1. 21 当法人主催の市民公開講座

H24. 2. 18 痛みの教室 市民公開講座 支援

H24. 3. 14 第 49 回八事整形会 支援

H24. 6. 14 第 50 回八事整形会記念大会 支援

H24. 6. 30 第 3 回日本低侵襲脊椎安定化手術研究会 (MIST) 佐藤会長 支援

次次年度

H25. 7. 6 第 25 回日本整形外科超音波研究会 佐藤会長 支援

H25. 9. 13-14 第 20 回日本脊椎脊髄神経手術手技学会 佐藤会長 支援

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センターは、整形外科運動器領域における地域医療連携を推進する団体です。そのために、人材育成、調査研究や政策提言および発表、相談や助言、知識の普及や情報提供などに関する事業を行い、安心して医療保健サービスを受けることができる社会の実現に寄与することを目的とします。

皆様にこの特定非営利活動法人の設立趣旨をご理解いただき、社会貢献活動の一環としてぜひとも今年度のご寄付を賜りますようお願い申し上げます。

平成 23 年 9 月 28 日

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター理事長
佐藤公治

【目的】

この法人は、医療従事者・企業・自治体職員などとともに、それぞれの役割を發揮しながら地域で連携し、人が安心して医療保健サービスを受けることができるようにするためのシステム作りと、そのための医療従事者人材育成、調査研究や政策提言および発表、相談や助言、知識の普及や情報提供などに関する事業を行い、安心して医療保健サービスを受けることのできる社会の実現に寄与することを目的とする。

【事業の内容】

(1) 特定非営利活動に係る事業

- ① 医療従事者向け研究会、教育や学術活動事業
- ② 市民公開講座など社会貢献事業
- ③ 整形外科や地域医療及び連携に関する研究や活動事業
- ④ ①～③の活動を行う研究会や関連団体および施設に対する支援活動事業

業

(2) その他の事業

- ① 書籍や小冊子の編集および出版事業

【寄付金の使途】

- ・法人運営のための活動資金
- ・研究会、講習会などの教育事業
- ・市民公開講座などの公益事業
- ・出版事業
- ・研究活動に関する助成
- ・医療ボランティアおよび災害救援活動
- ・国際協力の活動

【寄付金】平成 23 年度分

一口 10,000 円 何口でも

できれば 10 月 31 日まで、今年度分は 2012. 3. 31 まで受付

【寄付金の振込先】

三菱東京UFJ 普通 八事支店266-0088627

トクヒ)ナゴヤセイケイシエンセンタ

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター理事佐藤公治

【事務局】

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄三丁目 20 番 28 号 アクシオス千種 4 階
株式会社ゼニタ内

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター事務局

電話 052-238-3380 FAX 052-238-3381

メール norh-office@umin.ac.jp

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター
平成 23 年度分寄付申込書

下記の活動趣旨に賛同し、「特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター」に寄付いたします。

協賛金額： _____ 円

申し込み日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

ふりがな

お名前・施設・企業名： _____

ご連絡先： 〒 _____

電話番号： _____ FAX 番号： _____

E-mail アドレス： _____

◆ 個人情報の公表につきまして、以下の質問にお答えください。

基本的に個人情報を公表しても良い。 はい ・ いいえ

当法人のホームページに寄付者として載せて良い はい ・ いいえ

(3 口以上の方について) 新聞に掲載して良い はい ・ いいえ

このたび 11 月上旬に当法人の企画特集「骨粗鬆症と転倒予防の地域連携での取り組み」が朝日新聞に載ります。10 月 31 日まで、3 口以上ご寄付いただくと、そこへ関連施設、賛同者、賛同企業として載せることができます。

ホームページの賛同欄は単年度毎に更新します。

◆ 申込書の返送先、お問い合わせは事務局あてにお願いいたします。尚、振込口座は下記の通りです。尚、お振り込みされた際の控えは、領収書としてお取り扱いください。

振込口座：三菱東京 UFJ 銀行 八事支店 (普) 0088627

口座名義：特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター

トクヒ)ナゴヤセイケイシエンセンタ

【事務局】

〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄三丁目 20 番 28 号 アクシオス千種 4 階
株式会社ゼニタ内

特定非営利活動法人名古屋整形外科地域医療連携支援センター事務局

電話 052-238-3380 FAX 052-238-3381 メール norh-office@umin.ac.jp